

# 精密工学会北陸信越支部 2022年度 第1回幹事会議事録

日 時： 2022年5月14日(土), 13:00~15:30

場 所： WEB会議にて実施

《出席者》17名 (以下敬称略)

新田 勇(支部長:新潟大), 神谷 和秀(副支部長:富山県立大), 小谷野 智広(庶務幹事:金沢大), 米陀 佳祐(会計幹事:金沢大), 加藤 秀治(監事:金沢工業大), 松岡 浩仁(長野県幹事:信州大), 月山 陽介(新潟県幹事:新潟大), 岩井 学(富山県幹事:富山県立大), 岡田 将人(福井県幹事:福井大), 山口 貢(活性化委員:金沢大), 橋本 洋平(広報・情報部会委員:金沢大), 藤垣 元治(前支部長:福井大), 古本 達明(前庶務幹事:金沢大), 小林 義和(前新潟県幹事:新潟工科大), 保田 俊行(前富山県幹事:富山大), 千徳 英介(前福井県幹事:福井工業高専), 高杉 敬吾(前活性化委員:金沢大), 林 晃生(前広報・情報部会委員:金沢工業大)

《欠席者》1名

森本 喜隆(前監事:金沢工業大)

議 事:

## [1] 2022年度役員(庶務幹事)

- ・支部役員および支部選出の本部役員の確認がなされた。
- ・支部のアフィリエイトが全員卒業した。アフィリエイトの候補者がいれば積極的に推薦して欲しいとの依頼がなされた。
- ・昨年度は賛助会員の退会が1社あったことが報告された。

## [2] 2021年度事業報告および決算報告

- ・幹事会議事録(庶務幹事)  
議事録を確認した。
- ・事業報告(庶務幹事)  
事業報告を確認した。
- ・決算報告(会計幹事)  
決算を承認した。支部主催の特別講演会の多くや支部講演会がオンライン方式で開催されたことなどにより、コロナ渦前と比較して支出が大幅に減ったことが報告された。また、監査報告書が示され決算が適正であったことが報告された。

## [3] 各種会議報告

- ・支部長会議報告(支部長)  
春季大会で支部長会議が開催されなかったため、報告はなし。
- ・理事会報告(理事)  
前期の理事会資料が提示され本部の活動状況を共有した。精密工学会85周年事業がコロナ渦のため行われず90周年事業に予算が回されたこと、2022年の秋季大会の開催形式をオンライン方式に変更すること、春季大会(東工大)において機器展示の出展が減少した代わりにバナー広告が増加したことが報告された。また、Precision Engineering(PE)誌の校閲プロセスの統合について説明があった。euspenとASPEではPE誌のスコープが狭く、統合すればかなりの日本人の論文が査読されなくなる。一方で、日本人のPE誌論文1編当たりの平均引用数が低いなど、交渉するには分が悪い。また、どの国から投稿された論文も同じ基準で校閲し合否を判定する必要性から、PE誌が精密工学会のすべての分野をカバーすることはあきらめざるを得ず、他の案が検討されていることが報告された。
- ・広報・情報部会報告(広報・情報部会委員)  
各支部で取り組んでいる活動状況が報告された。賛助会員企業紹介記事について、コロナ渦で訪問

が困難な場合もあることから、オンラインでの訪問も可とされたことが報告された。

#### [4] 2022年度事業計画および予算案

- ・各県主催特別講演会・見学会等（各県幹事）  
各県幹事から報告された特別講演会や見学会の企画予定情報を共有した。積極的に企画を進めて欲しいが、基準の各県10万円を大きく超える場合は幹事会の了承を得るよう依頼があった。
- ・収支予算（会計幹事）  
予算案を承認した。支部活動運営費は本部からまだ入金されていないが、支部の会員数が減少傾向にあることから、支部活動運営費も減少傾向にあるが、積極的な活動を行うために例年通りの事業を行うこととした。

#### [5] 支部学術講演会について

- ・2022年度の支部講演会は、秋季大会が新潟県で開催されることにともない実施しないことが確認された。
- ・2022年度の秋季大会について、オンライン方式での開催となることが報告された。これは、対面開催の会場として予定していた朱鷺メッセの会場費が高額であり、企業から多数の機器展示を募る必要があったが、コロナ渦のため機器展示の大幅な減少が予想されるため。ただし、贈賞式等の各種行事は大会2日目に朱鷺メッセで現地開催する。また、オンライン方式での開催となることは本部の執行委員会で承認が得られている。
- ・2023年度の支部講演会は富山県で開催されることを確認した。

#### [6] 支部総会について

- ・2022年度は総会資料を支部HPで公開し、対面での総会は実施しないことが承認された。

#### [7] 2021年度表彰および2022年度募集について(支部活性化委員)

- ・昨年度の支部奨励賞の審査結果について報告があった。
- ・募集中の本部各賞についてアナウンスされた。支部推薦できるため、希望する場合は本部締切より前（支部締切）に連絡してほしいと依頼された。ものづくり賞は支部受賞枠が1件あるため、積極的に候補企業を検討することとした。
- ・支部技術賞の募集についても案内があった。可能な限り、本部技術賞→本部ものづくり賞→支部技術賞の順で自動応募を勧めることとした。

#### [8] その他

- ・会員増加に関する方策案として、“会員限定の基礎講座動画コンテンツの作成”と“賛助会員である各企業の30代中堅社員を対象としたワーキンググループの創設”が提案された。動画は著作権を譲渡してもらい、謝礼を支払う。動画の著作権の取り扱いについては注意を要するため、本部と連携しながら進める必要があるという意見が出された。著作権の扱いや謝礼について検討し、今年度から動画等の準備を進めていくことが承認された。
- ・支部からのフェロー推薦について、支部からの被推薦者が認定されないことが続いているため、支部長を通してフェロー申請についての実情を本部に問い合わせることとした。また、各支部が連携して本部に訴えてはどうかという意見が出された。
- ・次回幹事会は、11月中に開催することで進めることとなった。

以上